

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり

プロフィール 1970年（昭和45年）生まれ 48歳
早稲田大学大学院 政治学研究科修了
H27年 千葉県議会議員 2期目当選

岩井やすのり 議員事務所

TEL: 0476-36-7799

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23(栄町役場前大山ビル 2F)

千葉竜ヶ崎線バイパス 31年度さらに部分開通へ

印西市草深地先から国道356号(木下)駅南口入口交差点までを結ぶ県道千葉竜ヶ崎線バイパス事業は、平成31年度中にJR木下駅寄りの約0.7kmについて、部分開通の見込みであることが明らかとなりました。

●現道の狭さが大森交差点の渋滞原因に

弊いわちゃんポスト1月号において、車線を絞るポストコーンが国道356号・大森交差点の渋滞を招いていると指摘したところですが、同交差点のもう一つの渋滞原因が、県道千葉竜ヶ崎線（現道）の線形不良や幅員の狭さです。

同線は、千葉NT地区と利根川沿いを走る国道356号を結ぶ幹線道路であり、近年は近隣に大型物流施設の進出が相次いだことから、大型車など業務用車両の往来も目立つようになっています。しかし、現道区間は線形が良くなく、歩道が確保できないほど幅員が狭い上、大森交差点においては右折レーンを設置できないことから、朝夕はもちろん日中でさえ車両が数珠つなぎ状態となっているのです。

●グッドマン物流施設付近 300mが部分開通

そのような中、進められているのが千葉竜ヶ崎線バイパス事業。現道の交通混雑解消と歩行者の安全確保を図るとして、印西市草深地先と同大森地先の国道356号・駅南口入口交差点間の2.5kmに新道を設置するものです。



部分開通した千葉竜ヶ崎線バイパス



この1月には、大型物流施設であるグッドマンビジネスパーク付近の約300mについて部分開通し、バイパス事業の未開通区間は2.2kmとなっています。

●予定地途中に墓地 同意を得るべき関係者数百名

さて、県が公表した「道路整備における開通目標」によれば、同バイパス事業では、既に着手している駅南口入口交差点付近の工事を進め、平成31年度中にJR木下駅寄りの約0.7kmの開通を予定。用地買収も最終段階に入り、順調に進捗しているところです。

一方、難航が予想されるのは最後に残る1.5kmの区間。予定地の途中には共有地名義となっている墓地があることから、同意を得るべき関係者は数百名規模に上ると見られ、最終区間の開通年度の目途は立っていません。

印西市を選挙区とする地域の県議として、早期開通に向けしっかりと働きかけてまいります。

長門川の河川改修事業化へ 長年の要望活動が結実

土がむき出し状態で、河岸の浸食が問題となっていた長門川。県は国に予算要求を実施し、40 億円規模となる護岸改修の事業化が確実となりました。町とともに、県議会にて続けてきた要望活動が結実したものです。

●台風 26 号での印旛沼放水で八千代市内冠水

近年、台風やゲリラ豪雨といった大水への懸念が高まる中、印西市と栄町を挟んで流れる長門川の整備が強く求められるきっかけとなったのが、平成 25 年 10 月の台風 26 号です。

同台風では、佐倉市中心市街地や酒々井町内の農地など、広範囲で深刻な冠水被害に見舞われましたが、これらは想定外の雨量により高崎川の水が溢れたことによるもの。一方、八千代市内の 376 棟もの床上・床下浸水被害は、印旛沼水の新川への放流により沿川家屋で発生しています。印旛沼の一部で水が溢れだしたことに伴う緊急措置であったとはいえ、印旛沼増水時の新川への放水のあり方や、新川とともに印旛沼水の放流河川である長門川が注目されることとなりました。

●長門川の護岸整備 町とともに重ねての要望

しかし、長門川の河岸は、コンクリート護岸整備はおろか木柵による補強もほとんど行われておらず、ふだんから流水による浸食、洗掘が問題視されているのが現状。まして、大水時に印旛沼水の放水が行われれば、ただでさえ軟弱な河岸の土が一気に持っていかれると、沿川農家をはじめとする地



元住民から悲鳴の声が上がっていたのです。

この課題については地元自治体である栄町と共有し、印旛沼関連市町連絡会議等を通じた県への要望活動を実施。自身の県議会一般質問においても、平成 27 年 2 月議会以降、機

会がある度にその対策を訴えてきました。県は国への予算要求に際し、長門川の河川改修事業についての協議を進め、この 1 月、防災・安全交付金の新規事業として、長門川護岸改修の事業化が確実となったものです。

●ふじみ橋～酒直水門 4.3km 完成は H49 年度

事業内容としては、長門川の下流域に位置するふじみ橋～酒直水門の約 4.3km について、築堤工事（護岸工）を実施するというもの。総事業費 40 億円、工期は平成 30 年から 49 年までの 20 年間を見込みます。また、計画堤防高 (Y.P+3.6m) が不足している箇所の築堤を行うとともに、堤防の安定を図るため、鋼矢板基礎を設置。河道の流下能力を確保するため、一部で川床の掘削も行う予定です。

事業化の目途がついたとはいえ、ようやくスタートラインについている段階。設置すべき優先箇所や工事のあり方といったことについて、地域住民の声を拾い上げていくとともに、早期完成に向けて引き続き強く働きかけてまいります！



護岸整備が行われていない長門川

長門川の河川改修

